

● 矢沢地域振興会 役職員名簿 (令和6年度～令和7年度) ●

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
1 理事					
会長	中島 健次	学識経験者	副会長	伊藤 昇	高木第三行政区長
副会長	大森 松司	交通安全協会矢沢分会分会長			矢沢区長会会長
理事	熊谷 隆志	矢沢行政区長	理事	多田 繁	幸田行政区長
理事	菊池 成幸	高松第一行政区長	理事	多田 章	高松第二行政区長・花巻市防犯協会矢沢支部支部長
理事	川村 憲一	高松第三行政区長			高木第一行政区長
		矢沢区長会副会長	理事	高橋 靖	高木小路行政区長
理事	佐藤 博美	高木第二行政区長	理事	鴨澤 立治	矢沢観光開発協議会会長
理事	高橋 秀造	東十二丁目行政区長	理事	福盛田 弘	矢沢地区公衆衛生組合協議会会長
理事	佐藤 智明	矢沢民生児童委員協議会会長	理事	谷川 勝志	社会福祉協議会矢沢支部支部長
		社会福祉協議会矢沢支部支部長			矢沢地区公衆衛生組合協議会会長
理事	小原 久一	矢沢地区教育振興協議会会長・矢沢地区自主防災会連絡協議会会長	理事	小原 昇	矢沢地域民俗芸能保存団体協議会会長
					矢沢地区民俗芸能保存団体協議会会長
理事	佐藤 信一	学識経験者	理事	越後 晃一	矢沢地区体育協会会長
理事	古川 洋一	学識経験者	理事	高橋 純子	矢沢地区交通安全母の会会長
			理事	石崎 昭彦	矢沢地区自治公民館連絡協議会会長
					矢沢地区自治公民館連絡協議会会長
3 顧問			理事	古川 重勝	花巻市農業委員
顧問	川村 伸浩	岩手県議会議員	理事	佐藤 千秋	学識経験者
顧問	佐藤 峰樹	花巻市議会議員			
4 事務局			2 監事		
事務局長	古川 洋一	(理事兼務)	監事	佐藤真利子	JAいわて花巻矢沢女性部部長
事務主任	佐藤 寿子		監事	川村 聡	JAいわて花巻矢沢地区農家組合協議会会長
事務員	浅沼美紀子		監事	小原 和也	JAいわて花巻理事

2年間よろしく
お願い致します!

矢沢地域振興会 令和5年度収支決算書

1 一般会計収支決算書

(1) 収入 単位：円

科目	本年度決算額	摘要
市交付金	11,600,000	地域づくり交付金
会費	220,500	2,205戸×100
繰越金	562,440	前年度残額
負担金	120,000	他5団体事務負担金
雑収入	115,673	印刷代、貯金利息
繰入	0	
計	12,618,613	

※一般会計の支出は裏面に掲載。

● 矢沢地区・市政懇談会 ～ 開催のお知らせ ～

日時：5月27日(月) 18時00分～
(1時間30分)

会場：矢沢振興センター 大広間
懇談テーマ

- ・「有害鳥獣対策」・「福祉問題」
- ・その他一般

皆様の出席
をお願いします
ます!



市政懇談会の模様

(2) 支出		単位：円
科目	本年度決算額	摘要
事務的経費	3,027,157	
・役員報酬	840,000	会長・副会長
・役員手当	71,000	会議出席日当
・賃金	960,000	事務局長
・会議費	49,195	総会、役員会
・需用費	1,106,962	電気料・事務用品・通信料・リース料等
・備品購入費	0	
事業費	8,697,815	
・特定事業部会事業	3,754,529	生涯学習事業等7事業
・重点事業	603,400	ふるさと観光事業等3事業
・一般事業	2,447,886	防犯対策事業等4事業
・その他ビジョンに示す事業	1,892,000	公民館の設備整備、備品購入等
雑費	225,223	(自主財源)
予備費	0	
繰出	0	
計	11,950,195	
○ 次年度への繰越		668,418 円

○ 明朗大学・開講式のご案内！

開講式：5月21日（火）09時45分
 第1回講座：10時00分～
 演 目：割烹着の脳トレ漫談
 講 師：漫談師・福々亭ナミ子さん
 ※明朗大学では引き続き受講生を募集しております。どなたでも気楽に参加できますよ！

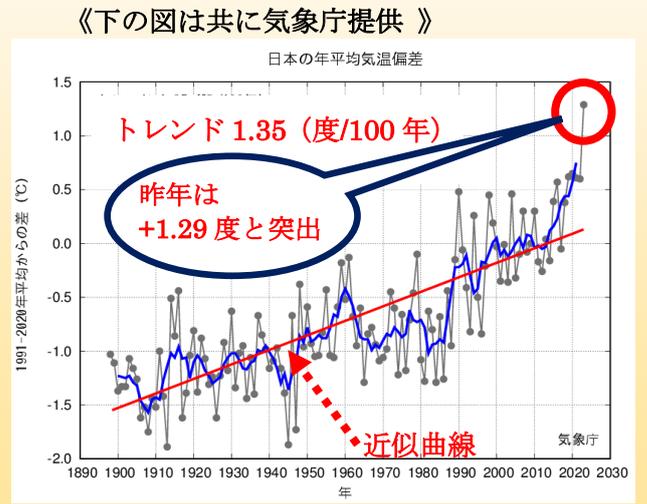
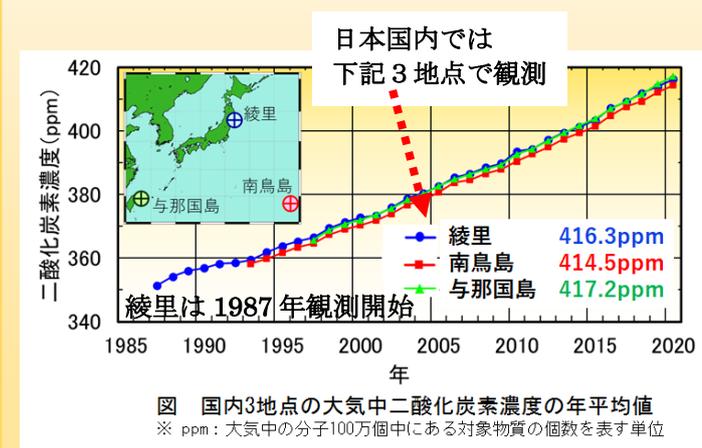


○ 令和6年度
 定期健康診査のご案内(矢沢地区)

会場：矢沢振興センター
 日程：5月28日（火）・30日（木）・31日（金）
 6月3日（月）～6月7日（金）
 時間：09時30分～11時00分
 13時00分～14時30分
 担当：花巻市健康福祉部健康づくり課健診管理係
 (花巻保健センター内 ☎ 41-3614)

【事務局員のつぶやき】(気象庁「気候変動監視レポート2023」を公表！)

昨年7月に、国連のグテーレス事務総長は「地球沸騰の時代が到来した」という言葉で、気候変動に対する強い危機感を訴えるなど、気候変動への対応は世界的に喫緊の課題となっています。気象庁は1996年から社会・経済活動に影響を及ぼす気候変動に関して、日本と世界の大気、海洋等の観測及び監視結果に基づいた最新の情報をまとめた年次報告「気候変動監視レポート」を発表しており、今年も3月22日に「気候変動監視レポート2023」を公表しています。主な内容はトピックスとして、1「2023年7月後半から8月にかけての顕著な高温」、2「2023年の日本近海の記録的な海面水温」の二つを取り上げています(海面水温の上昇については、「やまぼうし第172号」で紹介)。また、本文では「2023年の気候」と「気候変動」の二つの章で構成されています。その中で、2023年の日本の年平均気温偏差は+1.29℃で、1898年(明治31年)の統計開始以降126年間で最も高い値となり、日本の年平均気温は、100年あたり1.35℃の割合で上昇しています(下・右図)。また、大気中の二酸化炭素濃度は長期的に増加しています(下・左図)。



二酸化炭素濃度の年平均値の経年変化(右肩上がり)

日本の年平均気温偏差の推移(1898年～2023年)
 基準値は1991年～2020年の30年間(平年値)